

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	必修
担当教員			
美藤 信也			

授業のねらい（概要）	本授業では、DPに記載のある調査・研究のために必要となる様々なスキルを身につけ、企業や産業が直面する諸課題に対し、高度な判断能力、分析能力を身につけます。また、実践的な問題解決能力及び、管理運用能力を養い、知識共盤社会を支える高度で知的な素養を養成します。詳細な内容として、最初に学部で学んだ商学の知識を再確認します。次に、現在の流通業で主要な企業戦略となっているサプライチェーン・マネジメントにスポットを当てます。特に、SPAを中心とするファスト・ファッションやスーパーマーケットやコンビニエンスストアが手掛けるプライベートブランドの仕組みからサービス業や小売業等を中心とする流通業の国際化まで現在の商学で重要かつ最新のテーマを幅広く学び、高度な商学知識を習得します。そして、各履修者が修士論文を作成するために必要な商学に関する基礎力と応用力を身につけます。		
授業計画	第1回 【遠隔】ガイダンス（①本講義の進め方・評価の仕方、②商学総論特論で何を学ぶか。） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第2回 【遠隔】商業の視点（流通・商業の社会的存立基盤と品揃え形成等） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第3回 【遠隔】商業の機能（商流・物流・情報流に関わる諸機能） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第4回 【遠隔】小売業の機能と構造（さまざまな小売業の機能構造） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第5回 卸売業の構造と形態（わが国の卸売業の動向と諸形態） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第6回 卸売業と戦略展開（さまざまな卸売業の企業経営とケーススタディ） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第7回 【課題】商業・流通の政策（商業・流通政策の基礎と発展） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第8回 流通情報と戦略（電子商取引及びネット販売等） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第9回 サプライチェーン・マネジメント①（サプライチェーン・マネジメントとは何か） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第10回 サプライチェーン・マネジメント②（ファスト・ファッションの発展と動向） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第11回 【課題】サプライチェーン・マネジメント③（プライベートブランドの種類と展開） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第12回 流通と国際化①（流通業の国際化の現状と課題） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第13回 【課題】流通と国際化②（流通業の国際商品調達等） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第14回 流通と国際化③（流通業の海外出店等） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第15回 まとめ 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分）		
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	①調査・研究のために必要となる様々なスキルを身につけ、企業や産業が直面する諸課題に対し、高度な判断能力、分析能力を活用することができる。 ②実践的な問題解決能力及び、管理運用能力を養い、知識共盤社会を支える高度で知的な素養を身につけている。		
到達目標	①商学に関する最新のテーマを幅広く基礎的知識から高度な専門知識まで修得すること。 ②各履修者が、修士論文を作成するために必要な商学に関する事柄を身に付け、修士論文の作成を目指す。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テストなどの全体的な注意点などは、授業内で解説する。		

履修上の注意	各履修者の積極的な授業での取り組みや発言を期待します。
成績評価の方法・基準	レジュメの発表、プレゼンテーションの内容及びレポートの課題等で総合的に評価する。
教科書	【教科書】教科書は、使用しません。参考書は、講義の際に紹介します。必要に応じ、プリント及び資料を配布します。
参考書・教材	【参考書】教科書は、使用しません。参考書は、講義の際に紹介します。必要に応じ、プリント及び資料を配布します。
備考	2020年度は、7、11、13回を課題研究として学修します。 第7回の授業は、課題研究として学修します。課題研究の内容及び指示は、第5回、第6回の対面もしくはオンライン授業で行います。全体で240分の学修を想定しています。 第11回の授業も、第7回の授業と同様、課題研究として学修します。課題研究の内容及び指示は、第9回、第10回の対面もしくはオンライン授業で行います。全体で240分の学修を想定しています。 第13回の授業も、第7回、第11回の授業と同様、課題研究として学修します。課題研究の内容及び指示は、第11回、第12回の対面もしくはオンライン授業で行います。全体で240分の学修を想定しています。 「成績評価の方法・基準」欄の「レジュメの発表、プレゼンテーションの内容及びレポートの課題等」は、本学の感染状況への対応を踏まえて、「最終レポート」で代替することがあります。その場合は、授業などで実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知します。
教員との連絡方法	メール（アドレスは、授業内で周知）